

## ■ 2018 年度 S 日程 一般入試

### 「長文読解・小論文」問題の出題趣旨・解説

#### 【出題趣旨】

##### 1 問一について

〔問一〕は、文章の大意を600字以内で述べさせるものであり、文章の内容を正確に理解し的確に要約する能力を問うものである。

この論述については、日本社会において、困窮と孤立が世代を超えて広がっている現状・原因・課題等に関する記述を正確に理解しているか、的確に要約できるか、読みやすくわかりやすい正しい日本語の文章を書くことができるかどうかを評価している。

##### 2 問二について

自分自身の考えを、明確に、根拠をもって、論理的・説得的に述べる能力を問うものである。

この論述については、今後の日本の生活保障制度の在り方について、自分自身の考えを、読みやすくわかりやすい正しい日本語の文章で書くことができるかどうかを評価している。

#### 【解説】

##### 1 解答にあたっての注意事項と解答方法について

解答にあたっては、問題表紙に、①解答の訂正方法（斜線又は横線での消去と次のマス目からの書き直し）、及び、②記入方法（記入欄・横書き）が指示されており、当然それに従った解答が求められる。

この指示に従っていない場合、例えば、訂正した同じマス目の中に訂正後の解答を書いたり、解答欄外に訂正後の解答を書くなど、指示に従わずに解答を訂正している場合は、その部分は記入がないものとみなすなどして採点を行った。

また、誤字・脱字は、言うまでもなく日本語能力の問題であり、採点基準に含めている。

##### 2 問一について

日本社会において、困窮と孤立が世代を超えて広がっている現状等について、1)①現役世代の低所得化と未婚化、②困窮の子供への連鎖、③高齢世代の困窮化、④困窮の世帯内複合、⑤孤立の進行等の現状と内容と問題

点を理解しているか、2) 的確に要約されているか、3) 読みやすくわかりやすい正しい日本語の文章であるか、等を基準として採点している。

### 3 問二について

今後の日本の生活保障制度の在り方についての自分自身の考えが、論理的に記述されているか、読みやすくわかりやすい正しい日本語の文章となっているか等を基準として採点している。

以上